

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福島県いわき市 いわき市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓力	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
321,535	63,451	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

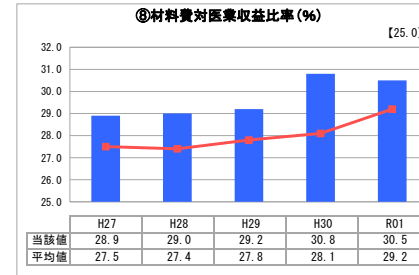
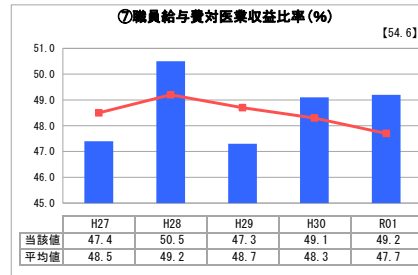
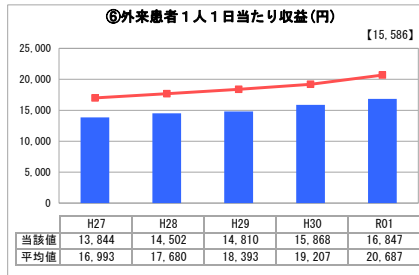
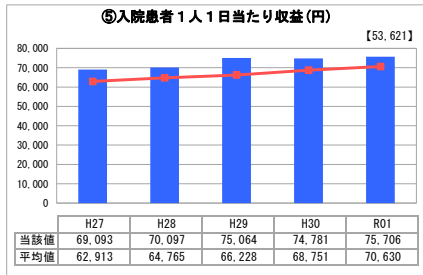
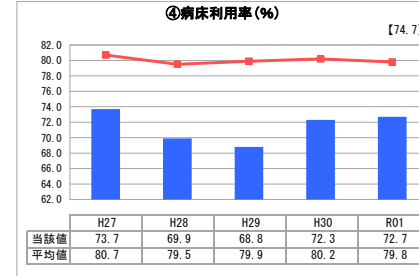
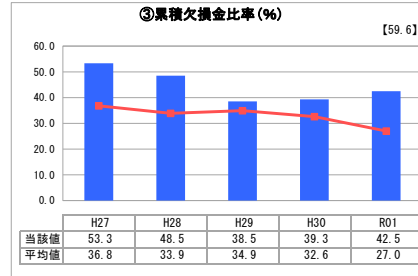
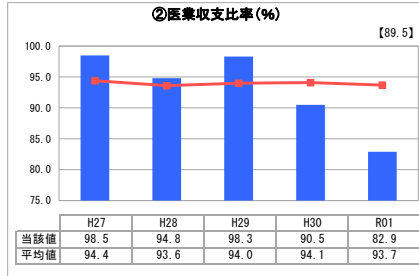
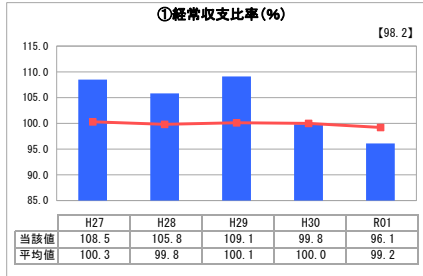
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
679	-	15
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	700
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
679	-	679

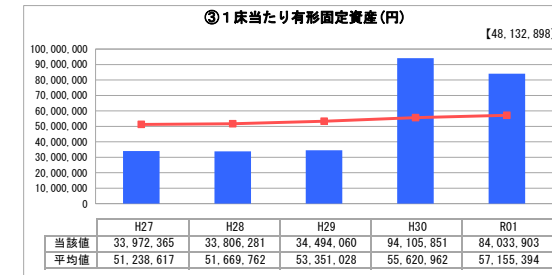
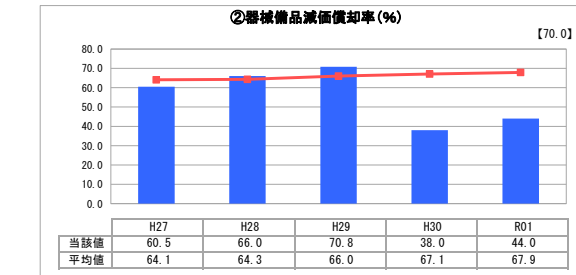
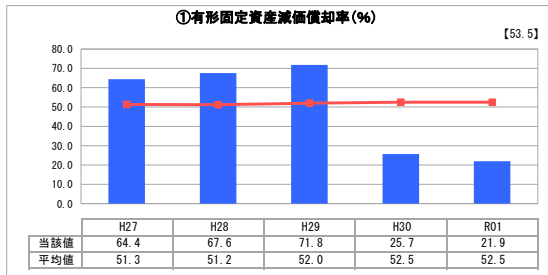
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

医福・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成22年度	-	-
年度	-	-

## I 地域において担っている役割

救命救急センターを核とした救急医療の提供をはじめ、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等の機能を発揮し、地域の中核病院として、福島県いわき医療圏はもとより、本県浜通り地区の高度急性期医療を担うほか、臨床研修指定病院として、地域医療の将来を担う医療従事者の育成に取り組みなど、多様な役割を担っています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「①」は、新病院の施設や医療機器等に係る減価償却費の増や、旧病院の建物の除却に伴う資産減耗費の増など、経費が増加したことなどから、「②」と併せて平均を下回っており、「③」は、やや増加しています。「④」は、平均在院日数の減により減少しています。「⑤」は常に平均を上回っているものの、「⑥」は常に平均を下回っています。「⑦」は、職員数の増などから、平均を上回っています。「⑧」は、高額薬剤の使用が伸びていることなどから、増加傾向にあります。

### 2. 老朽化の状況について

平成30年12月の新病院の開院と、これに伴う医療機器購入により、「①」、「②」は、平均を大きく下回っており、「③」は、平均を大きく上回っています。

## 全体総括

令和元年度は、新病院の開院に伴う機能移転の影響により、平成29年度以前と比較すると大きく数値が変動していますが、計画と比べて収支は改善しており、経営状況は概ね健全であると判断しています。なお、「④病床利用率」は、在院日数の減等により平均を下回っていますが、地域医療連携の推進を図り、新規患者の導入に努めるなど、医療収益の確保を目指しています。

今後、人口減少や少子高齢化の進展に伴う医療需要の変化や、新型コロナウイルス感染症による影響、更には、働き方改革への対応等を踏まえつつ、これまで以上に経営の健全性と効率性を高め、更なる経営の安定化に努めます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。